

2017年6月29日

日本生命保険相互会社

国内再生可能エネルギーファンドへの投資について ～当社初の国内インフラファンドへの投資～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、General Electric Company 社傘下の GE EFS エナジー・ジャパン合同会社が組成する国内再生可能エネルギーファンド、「EFS エナジー・ジャパン投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）に、100 億円の投資を行うことを決定しました。

インフラ投融資は、社会公共性や長期投資といった観点から生命保険会社の資金特性との親和性が高く、当社は環境や社会に資する債券（ESG 債）や、再生可能エネルギープロジェクト等への投融資を積極的に行ってまいりましたが、当案件は、当社初の国内インフラファンドへの投資となります。

当ファンドは、主に国内の太陽光発電事業を投資対象としており、国内の太陽光発電事業向けファンドとしては最大となる 750 億円規模を予定しています（ただし、最大 900 億円まで募集の可能性あり）。2016 年に稼動した久米南メガソーラープロジェクト（32MW）をはじめ、今後、国内の大型太陽光発電事業への投資が予定されており、当ファンドの取得資産を通じて、約 13 万 3,000 世帯分相当の約 400MW（※）の消費電力が賄われる見込みとなっています。当社は、当ファンドへの投資が、再生可能エネルギー導入の加速を目指す日本のエネルギー政策の一助となることを期待しています。

（※）750 億円の資金募集を前提とした数量

なお、当社は新中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4 年で 1.5 兆円の成長・新規領域への投融資を目指し、その中で ESG 債等への投融資 2,000 億円を目標としており、環境領域への投資を行う当ファンドも ESG 債等への投融資の一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ESG 投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当ファンドの概要>

名称	EFS エナジー・ジャパン投資事業有限責任組合
運用者	GE EFS エナジー・ジャパン合同会社
募集金額	750 億円（最大：900 億円）
当社投資額	100 億円

<当ファンドの投資先（例）>

発電所名	久米南太陽光発電所
所在地	岡山県久米郡久米南町

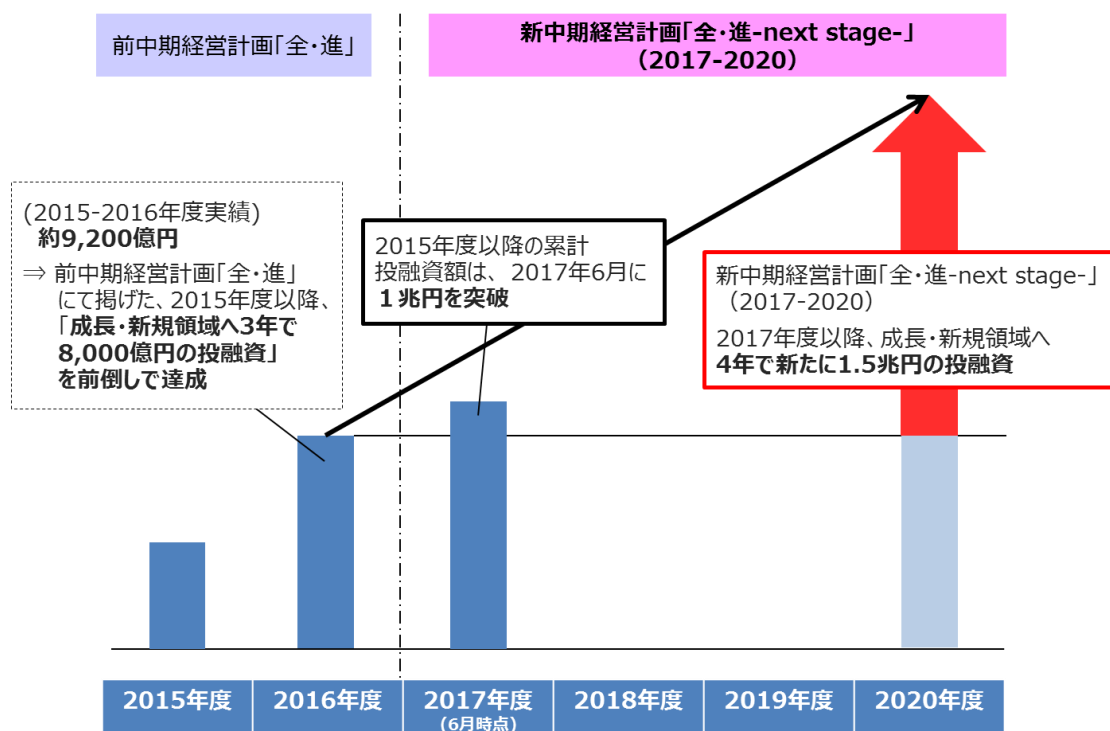


久米南メガソーラープロジェクト/（出典）パシフィコ・エナジー株式会社

(ご参考) 成長・新規領域への投融資状況について

当社は前中期経営計画にて掲げた目標「成長・新規領域へ 2015 年度以降の 3 年で 8,000 億円の投融資」を 2016 年度に前倒しで達成し、2017 年 6 月時点での投融資累計額は 1 兆円を突破いたしました。今年度からスタートした新中期経営計画「全・進-next stage-」(2017-2020) では、社会公共性・投資採算性をふまえながら、4 年で新たに 1.5 兆円の成長・新規領域への投融資実行に向けて取組んでいます。

成長・新規領域への累計投融資額 (イメージ)



以上